

2020～21年

冬

11月～3月

# パリ日本文化会館だより

11月花屋は閉鎖されたが、クリスマスツリーだけ販売OKだった



パリ日本文化会館・日本友の会会員企業の皆様におかれましては、新型コロナウィルス感染拡大の世界的な災禍による、大変厳しい状況にあってなお継続してパリ日本文化会館へのご支援くださっていることに心より感謝申し上げます。

## 冬から春のフランスの状況について

新型コロナウィルス感染拡大も2020年夏には一旦好転し、9月に会館は再開しました。しかし再度感染者数が大幅に増加し、10月30日から第2回のロックダウン政策が開始され、文化施設は閉鎖、必需品以外の商店も閉鎖となっていました。

その後、商店は11月末に再開、12月からのクリスマス(フランス語でノエルNoël)には、街がにぎわう様子も見られました。当館も政令に沿って図書館(貸出のみ)、地上階のテナントのショップ、「タクミフレーバーズ」のみですが再開しました。18時以降の夜間外出禁止令が出され、日常生活は大きく制限を受けましたが、12月24日だけは夜間外出が許され、人々は家族の絆を深めるノエルの夕べを楽しみました。

新年には会館再開を期待していましたが、年末に感染力の強い英国変異株の仏国内への拡大が判明し、年明けも厳しい状況が継続するのみならず、3月20日から第3回目のロックダウン政策が行われ、当館は3月末現在も臨時閉館のままとなっています。そんな中ですが、会館は会場での開催をオンラインに変更したり、新たな事業を開始するなど積極的に活動しています。

## オンラインによる日本文化発信と日本語講座

日本文化を紹介するオリジナル動画をYouTubeとFacebook上で配信しました。また、オンラインで日本語講座等を実施しました。

### ○ 新企画TUTOS(チュト)シリーズ

「自宅で気軽に日本文化を楽しんでみよう」という趣旨で、実践できるミニ日本文化講座を開始。正月や節分などの日本の時季に合わせて、生け花や折り紙、日本舞踊入門など、当館でいつも講座やワークショップを開講している講師による動画シリーズです。巣籠りを余儀なくされた子供や大人に向けて発信しました。

### ○ ル・ステュディオ

ミカエル・リュッケン教授による日本のアート、銭湯大使ステファニー・コロイン岸上さんによる銭湯の魅力、セシル坂井教授による樋口一葉の文学など、日本を知る人もそうでない人も楽しめて知識が得られる動画を配信しました。

### ○ ミゾポワン(Podcast)

日本のアニメなどについて、音声で発信。また「モンジャポン」(私の日本)シリーズとして、哲学者、翻訳家、元JETプログラム経験者の方々に、日本への思いや日本での印象的な経験について語っていただきました。

### ○ 日本語講座とMCJPオンライン日本語教師研修会

日本語講座秋学期(9月～2月)をオンラインで実施しました。

「ロックダウンでどこにも行けず他の人とも話ができない中、授業で、みんなと楽しく日本語で話せて、心理的にもよい効果があった」「最初はオンライン授業にとまどったが、日本語の上達だけでなく、最後には他の生徒と連帯感が生まれて、授業を受けてよかったと思う」といった感想が聞かれました。

日本語教師を支援するため、実践報告や情報共有を行うオンライン日本語教師研修会を継続実施しました。



チュト「生け花」

LE STUDIO

Sentô, les bains public japonais  
Stéphanie Crohin-Kishigami  
Autrice, spécialiste des sentô

#ArtdeVivre

ル・ステュディオ「銭湯」



日本語講座入門1クラスのみなさん

2020~21年  
冬  
11月~3月

# パリ日本文化会館だより

パリ17区 ブルゾー小学校  
俳句の授業



©Keiko Sumino-Leblanc  
ブレスイグレック

## 日仏交流俳句コンクール「離れていても」－withコロナで頑張る世界に俳句でエール－

### ○ 受賞作品決定！

コロナ禍の中、人々を日本文化で元気づけようと実施したこのコンクール。8月から10月の応募期間に、日仏だけではなく約30ヶ国から約1700句の応募がありました。パリ教育庁、日本語教師会に協力いただき、またパリ日本人学校、京都国際フランス学園等、日仏の19校からクラス単位での応募がありました。「日本語部門」「外国語としての日本語部門」「フランス語部門」に関し、一般、中高生、小学生以下の部から審査員賞、一般投票賞（「みんなの一句」）計31句が選ばされました。

フランスで日本語を教える教師の方から、「生徒たちに日本語に関心を持ってもらう良い機会だった」一般投票にご参加くださった方々から、「俳句を見て心が温まった」といった声も寄せられました。

この俳句コンクールは NHK BS1「国際報道2021」やNHKラジオ第一「マイあさ！」、東京新聞、FQ Japanでも取り上げていただきました。

コロナ禍の出口がなかなか見えない中で、この俳句コンクールは、パリ日本文化会館・日本友の会早川茂会長が「エコノミスト」誌（2021年3月30日号）でおっしゃったように、文化交流事業が、日本やフランス、世界を元気づけるという社会的意義を果たしていくことがよくわかる事業となりました。

<https://haiku.mcjp.fr/jp/>

蔓薔薇や母に食事を置き帰る

（日本語部門 一般の部 佐藤昭子）

*Cette douce brise  
qui caresse mon visage  
Belle liberté*

頬なでるそよ風自由の美しき  
(仏語部門 中高生の部 アエラ・マンデレール)

### 日本側審査員の黛まどかさんの講評

世界中が新型ウィルスの脅威に翻弄されています。そんな中でも春になれば木々は芽吹き、花は咲き、鳥は美しい声で鳴いていました。その『いのち』の輝きに多くの人が感動したことが日仏双方の俳句に表れていました。また日本語を第一言語としない方たちにとって、日本固有の定型詩を詠むことはとても難しいことだったはずです。しかし、『型』の国日本を理解していただくには、大変意義深いものだったと思います。

俳句は一期一会の文学です。たまたま出会った花鳥風月に、今日あること、今生きていることの大切さを実感し、対象の『いのち』と共に、自らの『いのち』を輝かせていました。

日仏の「いのち」の響詠は、離れた地で生きる人々へのエールの交換でもありました。



ツバメ達飛んで踊って窓裏で

（外国語としての日本語部門 一般の部  
バティスト・コラン）

受賞者の方々



パリ日本人学校  
藤本暖大さん



パリ日本人学校  
夫婦岩羽南さん



リナ・レキックさん  
©Keiko Sumino-Leblanc  
ブレスイグレック



2018年 ジャパン・  
ワークショップ参加者

イラスト : Anouck Boisrobert

2020～21年  
冬  
11月～3月

# パリ日本文化会館だより

2021年2月、  
積雪のセーヌ岸と会館



## 東日本大震災発災10年 特別企画 祈り INORI (Prière)



動画 祈りINORI (Prière)より抜粋 @パリ日本文化会館



MCJP 祈り

こちらもチェック！

表記があるそうです。ケルヴェックさんからの質問に答えた吉田さんは、「作曲とは困難を伴うものだが、続けなければならない。なぜなら音楽は人の心を慰めるためにあるからです」と語ったと話しています。

この動画を視聴してくださった、多くの方々から反応をいただいています。

「すばらしい。演奏に加え、作曲家と演奏者の対談によって、『祈り』の文化を超えた深さが明らかになった」「震災へのすばらしい祈りであり、また感動的で心のこもった対談だった。今日私は日本の友と共にあります。」

## 真葛焼と茶懐石～ 京都発真葛焼宮川香斎家と茶懐石の世界

日本の茶の湯にはあらゆる文化、工芸品が集約されています。茶の湯に欠かせないものの一つが「茶懐石」で、その料理は禅の影響を色濃く受け継いでおり、現代の日本料理の基本といえるものです。

長年京都で主に茶の湯のための陶磁器を作り続け、330年の歴史を誇る「真葛焼」窯元・宮川香斎家が、

茶道具の老舗の方々と共に、当館で、器を通して茶懐石を紹介する予定でした。しかしながら、渡航が困難となつたため、3月27日にウェビナー形式で講演会・デモンストレーションを実施しました。当館初の京都と当館を結んでのオンライン中継事業となりましたが、フランス、日本だけでなく、欧州諸国、英国、米国、イスラエル等、様々な国からご視聴いただきました。本事業は京都新聞にも取り上げていただきました。

また、茶懐石道具の展示についても、当初当館地上階で予定されていたものが、文化施設の閉鎖で実施できず、代わりに当館内で動画を撮影し、ウェブ上で紹介いたしました。



オンライン講演会より「千鳥の盃デモンストレーション」



長く厳しい冬と春、パリの人々の生活に欠かせない文化事業が中断されましたが、フランス各地で文化の重要性と再開を政府に訴える声が上がり、その再開への期待と機運が高まっています。パリ日本文化会館も今後会館が再開し、日本の文化を求める人々を迎えるように準備するとともに、オンライン事業についても継続し、日仏文化交流により、より良い社会を共に築いていくための事業を推進してまいります。